

～ワクワク wellness ～

心身魂のお掃除処

2018.11月 Vol.26

目黒区目黒本町 1-10-17

03-3716-1704

八海山先達

佐藤智江



10月20日毎年恒例の八海山大火渡り祭りに参加してまいりました。準備を含め三日のお休みを頂きご不便おかけいたしました。ありがとうございます。



メイン祭場の祭壇です。このほか社務所を含め数か所の祭壇の準備を手分けして進めていきます。そんなこなをお手伝いさせていただきながら、何百年と続く伝統を含め神事のいろいろを現場で教えていただきます。月謝を払って学校に行っても得られない貴重な体験です。本当にありがたいことです。

神社の境内の掃除から(私が参加した時には既に終了していましたが(^-^))祭壇の御簾も外しお掃除。御扉を開け納めてあるものすべて外に出し(この表現でよいのか?) 真っ新な布でその床や御扉も含め、磨きあげます。お掃除が終わってから地鎮祭を執り行いそこに**大護摩の護摩木積み**。両手で抱える程の護摩木を積み上げます。

私にとってこの火渡り前日が大晦日。当日が元日でまた新しい一年が始まるぞ!という感覚になります。

改めて、私のすべき事って?自分に問うてみました。美智子妃殿下のお言葉に「**幸せな子**」を育てるのではなく、**どんな境遇におかれても「幸せになれる子」を育てたい**という名言がありますが、神道の護摩祈祷をさせていただいて神様と皆さまのご縁が繋がったといっても正直『難がなくなる』のではなく(スミセ)、何がおきてもそれを乗り越えていく知恵や援助を授かり、気が付けば成長しながら乗り越えていた。という事だと思うのです。その一つとして、出来事に対する考え方や捉え方、事をこなす時の身体の使い方の色々をお伝えする。それが私にできる事であり、やりたい事、すべき事なのだと再確認しました。



杉の葉でお化粧して完成。本番を待ちます。そして当日早朝より祭壇の準備です。

家呑トモごはん(玉葱ガーリックバターふいかけ)



①玉ねぎをくし形にオリーブオイルでしんなりするまで炒めたら醤油と塩・胡椒

②バターでみじん切りんにんにく・パン粉・塩をパリッとさせるまで

③②にみじん切りパセリをあわせて①に振りかける

以上

【今月の付箋】

因解菜根譚 精神と心は違うもの

著:洪自誠 訳:齋藤 孝

精神は万古に新なるが如し

人間の精神は永遠に日に日に新しく生き続ける

「心」と「精神」は分けて考えるほうがいいと思いいたりしました。「今日は心が重い」「昨日は心がウキウキしていた」とかまるで天気のように心というものはころころとかわります。この喜怒哀楽が心です。

①)はそれとは少し違います。「武士道の精神」「甲子園の精神」「学校創立の精神」のように気分によって上がったったり下がったりしたり、個人的な感情が入ったりするものとは全く違います。

犬には豊かな喜怒哀楽があります。もしかしたら人間より豊かなのではないかと思うほどです。ところが精神があるかという、それほどものはない気がします。

かつての日本人は、精神が占める割合が大きかった。武士でいえば、精神が九、心が一くらいではないでしょうか。

切腹のときなど、心はほとんど介在しません。すべてが

精神です。ある赤穂浪士の妻が、夫が切腹するというこ
とで嘆き悲しみました。しかし、夫は妻に書き送ります。
「泣くな。これは人としてやらなければならないこと
だ」と。「でも心はいつもあなたと一緒にいたい」と。
これが精神と心の違いだと思うのです。

②)が肥大化すると、人は不安定になります。心と
いうのは土台のないものなので、その日その日で変わる
もの。ちょっとした出来事で、心が落ち込むこともあり
ます。しかし、精神というものはその影響をうけません。

私が提案したいのは、意識して誰かにあこがれ、その
精神を自分の中に流れ込ませる事です。たとえば、ニ
ーチェが好きでニーチェのことを知っていくうちに、ニ
ーチェの精神が流れ込み、自分の中に根付くことがあり
ます。著作や伝記を何冊もよむことでその人の精神が乗
り移ってくる。模倣しつつ③)で、心の
危機を減らせるのではないかと思います。

一人一人が自分の精神のテキストを持ち、精神を作っ
ていく「精神の師」を三人くらい定めて勉強するとよい
のではないかと思います。美しいと思うもの、好きな音
楽もいい。それを生み出す人達に精神を感じるのです。

①精神 ②心 ③身に着けること

【お知らせ】 自転車の空気入れあります！ご入用の際にはお声がけくださいませ♪

*11月15日(木)は己書講座のため 整体は臨時休業させていただきます

*11月20日(日)は 10時・13時・15時・19時の四回 本町社会教育会館にて己書幸座を致します

*11月28日(水)は 11時半・20時の二回 当院にて護摩祈禱を致します

魂の浄化である護摩祈禱に、ご家族、ご友人お誘いあわせの上ご参加ください。

(会員でない方もぜひ！但し神事の為、喪中の方は不可。)

一般住宅の至近距離で護摩祈禱を宗教を問わず一般の方が体験できるのは、とても**貴重な体験**です!!

毎月28日に当院にてお護摩のご祈禱をいたします。当院で執行する**神道の護摩祈禱**は、護摩木を燃え盛る炎の中にご自身でくべていただきます。護摩壇の上には薄い紙の切り下げを吊るして行います。大厄を消除し家内安全、商売繁昌、健康長寿、世界平和など、私たちの諸願成就をお祈りするものです。ぜひ**お護摩の音と香と熱氣をご自身で体感できる、参加型のお護摩のご祈禱**を体験なさってください



経済産業省より
登録番号 01000829 号
厚生労働省より
発医政 0321 第 4 号
それぞれより承認いただき
ました



神社の神殿のロウソクから火をます右の写真の護摩に点火。その火を松明で祭場の点火護摩まで運びます。そして更に松明で大護摩に点火。オリンピックの聖火リレーの様です。